奈良県告示第百十五号

道路法（昭和二十七年法律第八十号）第十九条第一項及び第五十四条第一項の規定により、大阪府との境界に係る道路の管理の方法及び管理に関する費用の負担について、大阪府と協議が成立した内容は、次のとおりである。

平成二十二年六月二十九日

奈良県知事 荒井正吾

一 協定道路

路線名	所在地	延長
主要地方道 大阪生駒線	1 奈良行 大阪府大東市寺川三丁目から生駒市辻町まで 2 大阪行 大阪府大東市中垣内一丁目から生駒市辻町まで それぞれ別図に示す区間とする。	二十一・一キロメートル（奈良県に属する区間の延長七・八キロメートル、大阪府に属する区間の延長十三・三キロメートル）

二 管理

- 1 奈良県（以下「甲」という。）は、道路法第二十七条第三項の規定により、協定道路を車両で巡視する。
- 2 道路管理者の権限のうち、1に定めるもの以外のものについては、甲及び大阪府（以下「乙」という。）は、甲に属する区間については甲が行い、乙に属する区間については乙が行う。

三 費用の負担

- 1 甲又は乙は、二の1に要する費用を、一の表の甲乙それぞれに属する区間の延長に応じ按分して負担する。
- 2 甲は、乙に、毎会計年度開始前に1による費用を通知する。
- 3 乙は、1による費用について、甲の請求により毎会計年度当初にその負担する額の二分の一に相当する額を予納し、出納の閉鎖までに甲の請求により精算額を納入する。
- 4 二の2に要する費用は、当該道路の道路管理者の負担とする。

四 協定の効力

この協定は、平成二十二年七月一日から効力を生ずるものとする。

五 その他

この協定に定めのない事項及びこの協定に関し疑義を生じた事項については、その都度、甲及び乙が協議して定める。

（「別図」は、省略し、その図面を奈良県土木部道路管理課に備え置いて告示の日から一月間縦覧に供する。）